

目 次

第1章 総説

1 沿革	1
2 施設の概要	1
3 組織及び業務内容	2
4 歳入歳出決算	5
5 試験研究費等の推移	6
6 主な試験検査機器	7

第2章 業務の概要

1 企画情報部	11
2 保健科学部	13
3 衛生科学部	17
4 環境科学部	19
5 地球科学部	21
6 検査部	24

第3章 研究報告

1 研究体系	27
2 研究概要報告	
(1) 環境水サーベイランスにおける病原ウイルスアセスメント	31
保健科学部 専門研究員 梶田 弘子	
(2) 地域の健康課題解決を目的とした保健情報の効果的活用に向けた基礎的研究	33
保健科学部 主任専門研究員 並岡 亜希子、主査専門研究員 平野 春菜、 上席専門研究員 三浦 紀恵	
(3) 残留農薬検査におけるGC-MS/MS分析の水素キャリアガス使用の検討	35
衛生科学部 主任専門研究員 涌井 玲、上席専門研究員 宮手 公輔	
(4) ヒスタミン分析法の検討	37
主任専門研究員 後藤 吉乃	
(5) 麻痺性貝毒の推移把握と傾向分析に関する研究	39
衛生科学部 上席専門研究員 宮手 公輔、主任専門研究員 後藤 吉乃、 技師 藤田 涼斗	
(6) 化学物質による環境リスクの把握・低減化に向けたスクリーニング分析法の開発	41
環境科学部 上席専門研究員 伊藤 朋子	
(7) 地下水中の鉛起源推定手法の確立	43
環境科学部 主任専門研究員 長澤 敦	
(8) 岩手県における絶滅危惧植物を対象にした種の存続の技術開発に関する研究	45
地球科学部 上席専門研究員 小山田 智彰	
(9) ツキノワグマの個体数推定精度の向上	
ならびに生息密度がツキノワグマの出没に及ぼす影響	47
地球科学部 主査専門研究員 鞍懸 重和	
(10) イヌワシの繁殖力回復のための保全生物学的研究	49
地球科学部 上席専門研究員 前田 琢	
(11) 微小粒子状物質（PM2.5）濃度の地域的な特性に関する研究	51
地球科学部 専門研究員 西家 弘真	
3 外部評価	55

4	資料	
(1)	感染症発生動向調査事業における病原体検出状況（令和6年度）	67
	佐藤 直人、平野 陽、山中 拓哉、梶田 弘子、高橋 知子、菊地 のあ	
(2)	腸管出血性大腸菌の検出状況（令和6年）	72
	山中 拓哉、平野 陽、梶田 弘子、菊地 のあ、高橋 知子、佐藤 直人	
5	学術雑誌掲載論文要旨	
(1)	An interlaboratory study on the detection method for <i>Escherichia albertii</i> in food using real time PCR assay and selective agars	77
	Sakura Arai, Shouhei Hirose, Keita Yanagimoto, Yuka Kojima, Satoko Yamaya, Takuya Yamanaka, Norihisa Matsunaga, Akihito Kobayashi, Naoto Takahashi, Takayuki Konno, Yuki Tokoi, Nozomi Sakakida, Noriko Konishi, Yukiko Hara-Kudo	
(2)	食品および環境水からの <i>Escherichia albertii</i> 分離法の検討および分離株の解析	79
	新井 沙倉、溝腰 朗人、佐伯 美由紀、木全 恵子、柳本 恵太、原田 誠也、 山谷 聡子、床井 由紀、福留 智子、長岡 宏美、山田 香織、濱 夏樹、 山中 拓哉、土屋 彰彦、浅野 由紀子、中村 由紀子、松永 典久、高良 武俊、 今野 貴之、小西 典子、土井 りえ、廣瀬 昌平、工藤 由起子	
6	研究発表抄録	83

第4章 研究発表目録

1	学術雑誌掲載論文	115
2	総説・報告等	115
3	学会等での口頭発表	116
4	県民等に対する啓発活動の状況	118